

令和6年度

ひろしま里山・チーム500
公式ガイドブック



Hiroshima Satoyama TEAM 500 <Official Guide Book>



広島県の県土の約7割を占めている中山間地域は、19市町に広がっています。

その中山間地域においては、人口減少・高齢化が著しく進行していることによって、地域の担い手が不足し、四季折々の自然が織りなす豊かな恵みや守り継がれてきた伝統文化などを将来に引き継いでいくことが困難になりつつあります。

ひろしま里山・チーム500は、このような「^{ゴーマルマル}里山・里海」に象徴される中山間地域ならではの価値を維持・向上させ、将来にわたって継承していくために、さまざまな地域づくり活動を実践している人たちが集うプラットフォームです。

チーム500の皆さん方と一緒に、広島の里山・里海を元気にしていきませんか。

チーム500公式ガイドブック CONTENTS

- P04 「元気さとやま応援プロジェクト補助金」について
P06 ～ 補助金活用の事例紹介
P10 ～ チーム500登録者限定の制度紹介
etc.

地域づくり活動 支援制度をご紹介します！

元気さとやま応援プロジェクト補助金 を活用しよう！

地域のために頑張る登録者の活動を後押しする補助金です！

令和4年度から始まった「元気さとやま応援プロジェクト補助金」は、チーム500登録者の方が活用できる補助金です。チーム500登録者による、地域を巻き込み、地域と協働して行う新たな取組の実施に直接的に必要な立ち上げ経費が対象です。有効に活用していただき、地域づくり活動を加速させてください！

これまでの支援件数

令和4年度 68件
令和5年度 60件

計 **128** 件

新たなプロジェクトが生まれています！

補助率

★補助率：補助対象経費の2/3以内

★補助額上限：1件あたり100万円

補助対象経費については、県HPでご確認ください。

- 1 県HPより書類をダウンロードし、事業計画書等の作成（県との事前相談可）
- 2 事業実施について、市町へ説明・相談
- 3 県へ申請書の提出（必要に応じて書類の修正）
- 4 交付決定を受け、事業開始

申請書類提出期限・交付決定日		
	提出期限	交付決定日
第1期	5月末	6月末
第2期以降	毎月月末	申請書受付月の翌月末
最終	12月末	

<事前相談及び申請書等の提出先>

広島県 地域政策局 中山間地域振興課 里山人材強化グループ
【住所】〒730-8511 広島市中区基町 10-52
【電話】082-513-2632 【メールアドレス】chichusankan@pref.hiroshima.lg.jp

「もっと制度を活用したい…」 「地域活動に悩んでいる…」 そんな方へ！

地域づくりサポートデスク を使ってみませんか？

地域づくりを実践される中で
お困りの課題等をご相談ください

「地域づくりサポートデスク」は、広島県内の中山間地域のにぎわいづくりなどに取り組む人たちの相談を、ワンストップで受け付ける総合相談窓口です。地域づくり活動の中で様々な課題に直面し、サポートが必要な場面もあると思います。ご相談内容に応じて、広島県庁内の関係課、県内市町、関係団体、チーム500登録者などと連携し、最大限サポートを行います。ぜひお気軽にご利用ください。



次のページから補助金活用事例を紹介！

サポートフロー

- 1 電話・メールで問合せ 来庁しての相談も可能！
- 2 サポートデスク 担当者と相談
- 3 相談内容に応じて 各種サポート



<これまでのサポート事例>

- 補助金の申請書類の書き方がわからない → 補助金窓口だけでなく、サポートデスクでもこの相談を受け付けます。事務局と面談を行い、書面の書き方等をご説明しました。
- 古民家改装のためのアドバイスをくれる建築関係の方と知り合いたい → チーム500登録者内で建築関係の方を繋ぎ、古民家の視察に同行してもらいました。
- チーム500のHPへの投稿方法がわからない → 事務局担当者と電話を繋ぎ、一緒に操作しながらご説明しました。

地域づくりサポートデスク お問い合わせはこちら

【電話相談】082-513-2637 【メール相談】chiikisupport@pref.hiroshima.jp
【窓口相談】広島県庁南館2階 中山間地域振興課内
【対応時間】電話：平日9:00~16:30 / メールは年中無休で受付(回答は5営業日以内) / 窓口：平日10:00~16:30

元気さとやま応援プロジェクト補助金

活用事例紹介

東新会 代表

かしはらせつ お

榎原節男さん

01

PROFILE

1956年生まれ庄原市東城町在住。建築士として活動しながら、近年はアートや音楽を絡めた歴史的建造物の保存再生・利活用など、まちづくり活動に取り組む。自身が関わるまちづくり団体は、平成28年に「国土交通大臣まちづくり功労者表彰」等を受賞している。



地域との協働内容

・東城路まちなみ協議会

自治会など約10団体からなる協議会と、ヤマモトロックマシン自治寮の壁画プロジェクトの運営などで協力しています。

・東城女性会

壁画プロジェクトのイベント参加者へ食事提供や、イベントのスタッフとしてご協力いただいています。

・ヤマモトプロジェクト

壁画プロジェクト進行の全体的なサポートをしていただきました。また、建物の利活用を目的としたDIYイベントの企画、実施を一緒に行っています。



元気さとやま応援プロジェクト補助金を活用してリノベーションした建物。イベント会場の机と椅子も補助金で揃えた。



プロジェクト概要

地域と企業と都市部の大学と共同で地域資源を活かし地域を創造する

東城の街並みの景観整備や、地域の方々と都市部の学生の交流を促進するため、空き家となっている歴史的建造物のDIYや修繕を実施しています。地域の方にとっては、参加者のサポートをきっかけに新たな交流が生まれ、地域に活気と生きがい生まれています。

補助金を活用して実施した内容

歴史的建造物であるヤマモトロックマシン（株）の旧本社をリノベーションし、カフェやイベントなどで利用できるよう、備品を購入しました。2階のスペースの壁は当時の色を再現できるように修繕し、音楽イベントなどに活用できるようになりました。



DIYイベントで修繕した2階のスペースの壁。



壁画プロジェクトで完成した壁。



さまざま
な団体
が関わ
って
くれ
まし
た！

補助金を活用した結果

“ 令和5年7月から令和6年1月までの月2回、DIYや音楽イベントなどを開催しました。DIYイベントには、全6回、のべ約100人が参加し、地域の方と交流することができました。 ”

プロジェクトのこれから

文化と創造の集まる場所へ

2024年7月に、この建物が国登録有形文化財として答申されました。今後は、カフェの常時開店を目指し、イベントの場所貸しとしても運営する予定です。また、広島市立大学などと連携し、学生向けの創作活動の拠点にしていきたいと考えています。



元気さとやま応援プロジェクト補助金

活用事例紹介

尾道柿園 スタッフ (元尾道市地域おこし協力隊)

おおはしかず や

大橋和也さん

02

PROFILE

1984年生まれ、東京都出身。農家の孫として育ち、大学院まで農学を学ぶ。卒業後大手スーパーの青果部で勤務。その後、世界各国での農業研修指導や、JICA 青年海外協力隊としてプータン王国で野菜栽培の技術指導を行う。2020年4月、尾道市御調町へ移住。現在は『尾道柿園』にて勤務。

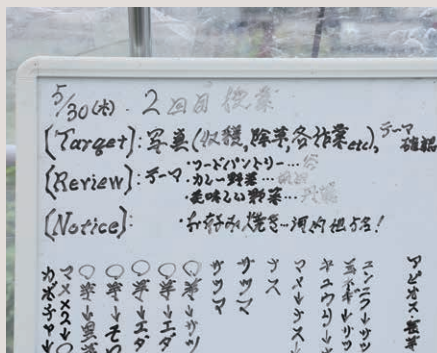


地域との協働内容

- ・広島県立御調高等学校 > 学校運営協議会（コミュニティスクール）のメンバーとして「総合的な学習の時間」に参加しています。地域おこし協力隊時代から関わり、講師として農業実習指導を行っています。
- ・道の駅クロスロードみつぎ > 道の駅主催のイベントにて、農業実習の生徒たちと高校紹介を実施しています。また、他のイベントでは、自身が管理している畑で農業体験なども行っています。
- ・尾道市役所御調支所 > 学校運営協議会で日頃から連携し、事務処理、補助金申請などのサポートを受けています。



農業実習での大橋さんと生徒の様子。生徒はそれぞれに目標を決めて、野菜の栽培に取り組む。



プロジェクト概要

御調食農菜園 ～ Eat with a Smile Project ～

御調高等学校で講師をしている「総合的な学習の時間」で使用するため、生徒たちの農業体験の拠点となるビニールハウスを設置しました。ここで、農作物の栽培をテーマにした授業を実施しています。

補助金を活用して実施した内容

耕作放棄地だった場所にビニールハウスを設置するための資金として、補助金を利用しました。現在、このビニールハウスは、授業以外にも道の駅との協働イベントで芋掘りなどの農業体験にも利用しています。親子連れが気軽に立ち寄り、農作業を体験できる場所となっています。



補助金を利用して建てたビニールハウスは、通称「御調ラボ」と呼ばれているそう。



生徒たちが栽培した野菜は、自分で持ち帰ったり他の生徒や先生に配ることもある。



ハウスの中でミニトマトがたくさん実りました！

補助金を活用した結果

“ 令和6年4月からは、9人の生徒が農業実習に参加しています。ハウスを設置したことで、天候に左右されず農業実習を行うことができるようになりました。 ”

プロジェクトのこれから

栽培・加工・販売までできる仕組みを作る

現在御調高等学校で行っている授業は、農業を通じて生徒たちの「生きる力」を育成する、人間教育です。農作物の栽培から人の手に渡るまでを考える時間を生徒たちと共有したいと考えています。そのために、栽培するだけでなく、加工品を作り、道の駅などで販売できる仕組みを作っていきたいです。



クラウドファンディングへの挑戦をサポート

あなたのアイデアが、地域の未来をつくる！

資金調達、テストマーケティング、プロモーションなど、多くの目的で活用されているクラウドファンディング。「ひろしま里山・チーム 500」では、クラウドファンディングに挑戦する登録者の伴走支援を実施します。

サポート
内容

1

プロジェクトページ作成のサポート

1

お問い合わせ

クラウドファンディングに挑戦したい方は、地域づくりサポートデスクなどから、事務局までお問合せください。



2

ヒアリング

事務局担当者が、どのようなプロジェクトでクラウドファンディングに挑戦したいのかなどをヒアリングさせていただきます。



3

クラウドファンディングページ作成のための文章添削

クラウドファンディングにおいて一番大切なことは、プロジェクトへの想いが込められたページを作ることです。文章作成のサポートや添削なども行います。



サポート
内容

2

プロモーションのサポート

クラウドファンディング実施期間の情報発信をサポート

クラウドファンディングで大切なことは、**広報活動**です。SNS での拡散だけでなく、メディアに向けたプレスリリースを出すことも、支援を集める方法の一つです。プレスリリースの書き方もサポートします。

ぜひ活動レポートに
投稿してください！



利用者の声

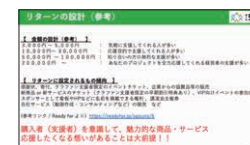


北広島町 大内良三さん

初めてのクラファン挑戦 サポートを受けて170%達成

文章の作り方や戦略の指導は、自分自身の成長に繋がりました。自分の目指す事業構想を知ってもらえたことは、今後の運営にも影響を与えてくれると思います。クラファンを検討中の方は、ぜひ仲間と一緒に始めてみてください。

クラウドファンディングについてお悩みの方はオンラインの動画資料をご覧ください！



クラウドファンディング勉強会の資料を、チーム 500 登録者限定で配布しています。ご希望の方は右の QR コードから申し込み画面にお進みください。

資料請求は
こちらから



プレスリリースから
取材に繋がるケー
スもあります！



チーム 500 公式 HP やメルマガで 挑戦者の記事を紹介

チーム 500 のサイトで、タイトルに「クラファン 2024」をつけて記事を投稿していただければ、運営事務局として SNS 広告の支援をさせていただきます。また、メールマガジンでもチーム 500 登録者に共有します。

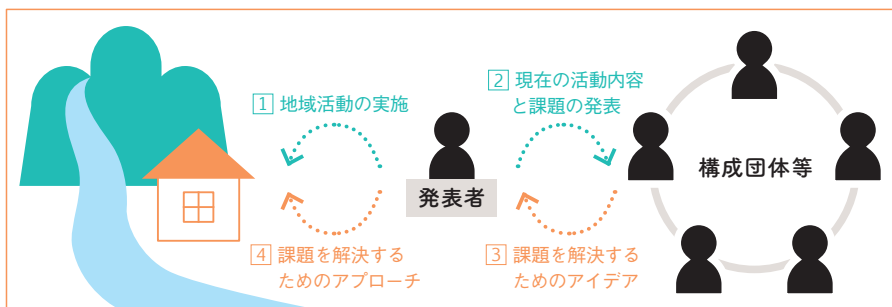
大内さんのクラファンページ



さとやま未来円卓会議

さとやま未来円卓会議とは？

登録者の活動を効果的に後押しし、実践活動の継続とさらなる発展を図るため設置された支援のひとつです。活動の課題解決に向けて、行政機関、大学などからなる36の構成団体や外部専門家などによる、アドバイスや活動継続に必要な人材や資金の提供、個別マッチングなどを行います。



実施概要

発表者と構成団体がそれぞれグループに分かれて意見交換

令和5年度第2回目の円卓会議では、チーム500登録者3名が課題解決に向けた取組や、構成団体に求める支援などを発表後、登壇者ごとに3つのグループに分かれて構成団体の方々と意見交換を行いました。



課題に沿った意見交換で解決のためのヒントを得る

登壇者3名の皆さんにとって、これまで自分が気づいていなかった事業の価値や道筋が明確となり、有意義な時間となりました。



令和5年度 登壇者の声



瀬戸内いとなみ舎
合同会社 代表

みね おりょうへい
峰尾亮平さん

PROFILE

35歳で脱サラし、神奈川県から広島県に移住。「100年後へつなぐまちと自然」をテーマに農業とまちづくりに取り組む。

構成団体からのアドバイスで「次の一手」を具体的に意識

各市町の方や金融・大学関係の方に、自分の活動を知ってもらえるのは貴重なことです。チーム500の補助金や農産物登録制度など、具体的な次の一手を提案いただいたのが印象的でした。広島県全体で、事業者を応援する意識が強く感じられた良い機会でした！



編緋(あむなう)代表

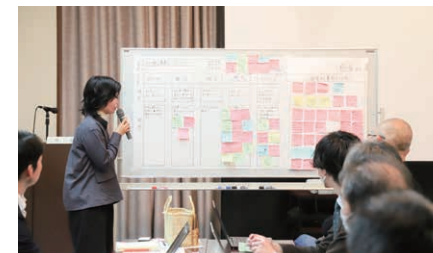
じんのうちあや
陣内綾さん

PROFILE

広島市出身。東広島市豊栄町の地域おこし協力隊として、地域の伝統的な手仕事の掘り起こし、継承を行なっている。

自分のビジョンに磨きかける時間

漠然としたビジョンや課題を、意見交換することで、具体化できてよかったです。多様な視点からのアドバイスで、取り組むべきことを立体的に捉えられました。また、円卓会議前後の伴走支援も充実しており、自分の活動について整理する時間になりました。



チーム 500 公式サイト活用のススメ!

チーム 500 の公式 HP を活用しよう

チーム 500 の公式 HP を利用したことはありますか? このサイトでは、県内のさまざまな地域で活動する人々を知ることができます。活用のメリットをご紹介します。

チーム 500 サイト活用のメリット

1. 自分の活動を発信できる
2. 中山間地域で頑張る仲間とつながることができる
3. チーム 500 登録者の活動事例を参考にできる

チーム 500 公式サイト の 使い方

Check! 人を見つける

メディアや SNS で見つけた、気になる活動をしている人の名前を検索してみましょう。

Check! 地域名で検索する

地域名を入れると、その地域を活動エリアに登録している人が表示されます。

Check! 地域を学ぶ

これまでチーム 500 で取材した方のインタビューや、オンライン交流会のレポートなどを読むことができます。

Check! イベント情報を知る

チーム 500 主催のイベント情報や出展者募集などのお知らせを随時掲載しています。

活動レポートを公式サイトに掲載する方法

1 投稿する内容の カテゴリーを決める

「活動レポート」「商品 / サービス」「イベント」の、どのカテゴリーにするかを決めて、右上の新規投稿から始めます。

2 タイトルや画像を挿入 する

タイトルには、記事に関するキーワードをうまく入れて、閲覧の機会を増やしましょう。画像は最大 1MB までが推奨です。

3 画像・キャッチコピー 本文を入れる

記事は、画像・タイトル・本文で構成されます。活動の様子がわかる写真を数枚入れることで、より伝わりやすくなります。

4 YouTube の 埋め込みも活用する

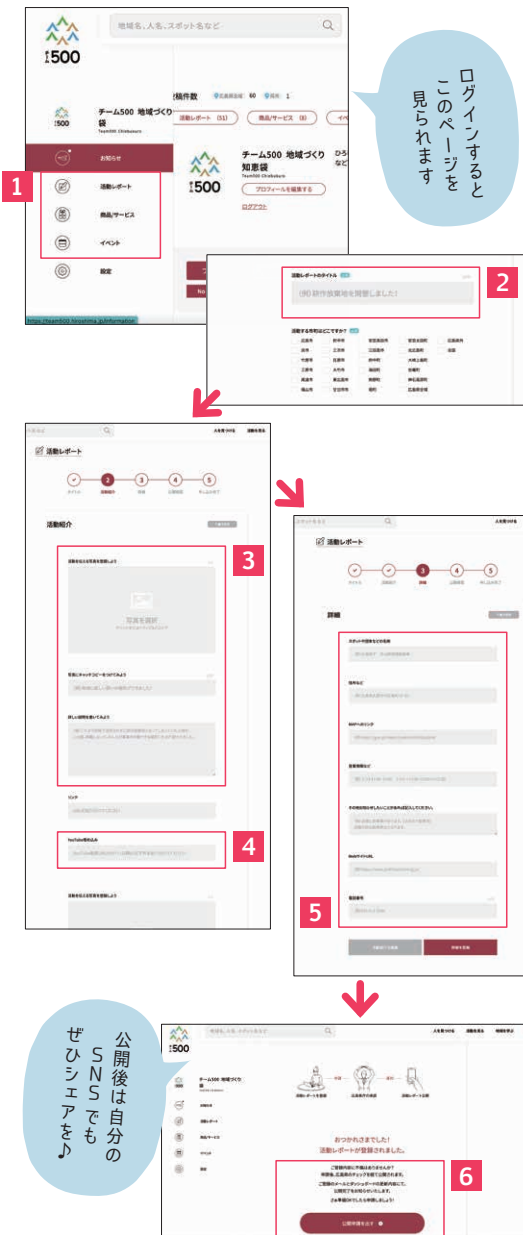
投稿内では YouTube の埋め込みも可能です。写真や文章だけでは伝わらない情報を、しっかり伝えられます。

5 詳細情報はわかりやす く記載しよう

イベントの主催者・WEB サイトのリンク・連絡先など、必要情報をまとめてわかりやすく記載しましょう。

6 県庁のチェックを経て 記事が公開されます

公開申請を出して、広島県庁の担当者のチェックが完了すると記事が公開されます。申請時と公開時に、メールが届きます。

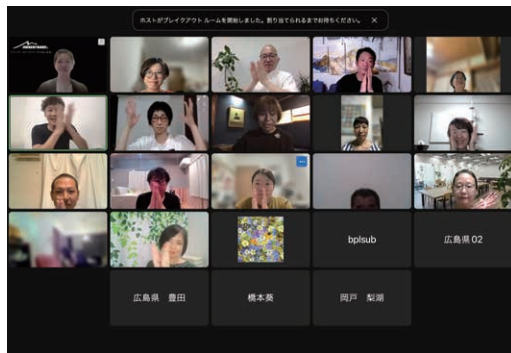


ひろしま里山・チーム 500 交流会

オンライン交流会

オンラインで登録者同士の 緩やかな“つながり”づくり

「ひろしま里山・チーム 500」では、交流会や勉強会などのイベントを定期的に開催しています。中山間地域で活動する登録者同士が事例を共有し、互いに繋がることで、情報交換にとどまらず地域での協働へと繋がります。登録していない方も参加できますので、地域活動に興味のある方はぜひお申し込みください。



令和 5 年度のオンライン 交流会の様子

令和 5 年度はチーム 500 登録者をゲストに迎え、さまざまな分野で活躍する方の地域づくり事例を学びました。その後グループに分かれて、参加者同士で学びのシェアを行いました。



自分の興味ある分野を実践している方から直接話が聞けます！

交流タイムでの意見交換も
有意義な時間になります！



リアル交流会

スキルアップを目指す仲間と 共に中山間地域にて開催！

令和 6 年度は、中山間地域での現地視察を通じて、地域づくりを学ぶ機会を提供します。さらに、地域づくりの実践者をゲストに招き、具体的な事例を交えた勉強会も開催します。現地開催ならではの学びと交流を通じて、一緒に地域の未来を築きましょう！



令和 5 年度のリアル 交流会の様子

呉市安浦町で実施した勉強会では、呉市で活動する 2 名の登録者から、活動について発表していただきました。後半はグループに分かれて、「持続的な地域をつくるために必要なこと」をテーマに、意見交換を行いました。



地域課題について
一緒に議論を深められます



リアルにあって
繋がりができることが嬉しい！

令和 6 年度の企画実施予定

6月20日(木) ※実施済	7月17日(水) クラウドファンディング勉強会 ※実施済
8月22日(木)	9月19日(木)
10月12日(土) ※リアル交流会	11月21日(木)
1月18日(土) ※リアル交流会	2月20日(木)
	3月13日(木)

※日程は都合により変更する場合があります。

これまでの
実施レポートも
ご覧ください！



交流会や勉強会の開催後には、チーム 500 公式サイトにてレポートを掲載しております。大まかな内容や、開催時の写真を載せていますのでぜひご覧ください。

HPはこちら



販路拡大のための販売機会もご案内します！

<ひろしま夢ぶらざ「チーム 500 フェア」>

年間 125 万人が訪れる店舗でチーム 500 登録者限定のフェアを実施

広島市中区本通にある「ひろしま夢ぶらざ」は、県内の特産品が並ぶアンテナショップです。年間来客数が多いこの場所で、チーム 500 登録者限定のフェアを毎年実施しています。

※令和 6 年度は 7 月 17 日から 7 月 30 日まで開催



これまでの出店者の声



地域外の人に認知を広めたい商品なので、多く人が訪れる場所での出店はとても良い機会でした！

岸本 恭子さん



商品のテストマーケティングを、広島市中心部でできたことがとてもよかったです。対面販売か委託販売かを選択できることも、魅力的ですね。

矢野 智美さん

<そごう広島店「ひろしま里山マルシェ」>

そごう広島店 5 階に里山・里海の特産品が大集合！

そごう広島店 5 階にて「ひろしま里山マルシェ」が開催されます。中山間地域の各地で地域と協働して作られた商品が約 300～400 点集まります。期間中の 2 週間で、約 1000 名のお客様が商品を購入される見込みです。

※令和 6 年度は 2025 年 2 月 18 日～3 月 9 日に実施予定です



※開催イメージ

これまでの出店者の声

地域の特産品を生かした商品を販売できました。想いを形にするために、挑戦させてもらえる場所があるのはとてもありがたいです。

延原 真由子さん



ブランドを知って頂く良い機会になりました。他の出店者の方と、相互に応援しあう出会いもあり、今後に繋がっています。

北尾 悦子さん



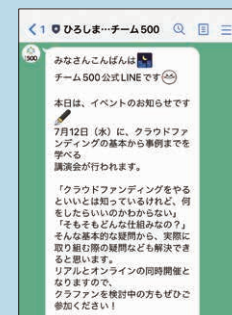
チーム 500 公式 LINE の使い方

「ひろしま里山・チーム 500」では、公式 LINE でもイベント情報などを発信しています。ぜひご登録ください。



情報を 受け取る

毎月開催されるオンライン交流会や勉強会のお知らせ、その他の学びのコンテンツをぜひご覧ください。これらの情報を受け取って、地域活動にお役立てください。



相談する

公式 LINE では、個人メッセージも受付しています。何かご質問やお問合せのある方は、お気軽にメッセージしてください。原則 3 営業日以内に返信させていただきます。

お友達登録はこちら！



チーム 500 新規登録を受付中！

令和 6 年 7 月末現在で 740 名の方が登録している「ひろしま里山・チーム 500」は、随時新規登録者を募集しています。中山間地域で活動するあなたの参加をお待ちしております！

こちら



新規登録者向けオリエンテーションを毎月実施中！

令和 6 年度より新たに、新規登録者向けオリエンテーションをオンラインで毎月実施しています。オリエンテーションでは、チーム 500 で活用できる制度などをご案内します。ぜひご利用ください。

開催日程

6 月 25 日※実施済、7 月 23 日※実施済、8 月 27 日、9 月 24 日、10 月 22 日、11 月 26 日、12 月 17 日、1 月 28 日、2 月 25 日、3 月 25 日 各回 20:00～20:30

Instagram



Facebook



ゲーム 500 活用ブック

